

## 前橋市における水難事故予防活動

長塩 典久・大手 貴史・石原 宏二・中澤 里沙子・粒見 大・田中 拓・中澤 修平（前橋市消防局）  
丸岡 隆典（前橋市防災危機管理課）、笹川 由美（前橋市役所市民部）、猪股 さやか（前橋市収納課）

### 1. はじめに

前橋市における水難事故予防活動は、平成22年（2010年）に管内を流れる利根川で近隣の小学校5年生男児が流された水難死亡事故がきっかけとなっている。事故後、前橋市内にて指導員（プール）養成講習会が開催され、前橋市内の学校にも水難事故への対処法を広めていくことの重要性が認識され、前橋市消防局内に水難事故予防教育に関する自主研究グループを立ち上げ、市内の小中学校や地区の中核となる市民サービスセンター（公民館）への訪問指導や水難予防啓発資料作り等を行っている。

令和5年度では、水資源を活用した観光地での事故対策訓練、前橋市民に向けた水難事故予防の広報活動及びういてまて教室等で指導する際の「危険予知シート」を活用した安全管理について、紹介させていただく。

### 2. 水資源を活用した観光地での事故対策訓練について

本格的なレジャーシーズンを前に、前橋市の赤城山大沼でカヌーの安全対策訓練を実施した。赤城大沼では、2020年度から個人利用に限りカヌーの持ち込みが可能となり、昨年6月からカヌーツアーの実証事業を行っている。今後利用者が増加することを見込み、カヌーに特化した訓練を初めて実施するにあたり、消防職員でありながら、水難学会指導員資格を有する我々が指名され訓練を行った。利用者の安全を守るためのレスキュースキルは大切であるが、利用者個人のライフジャケットが正しく着用されていることや、トラブルで溺れた際の対応が大切であると指導した。実際、レスキューに向かう側のライフジャケットが正しく着用されていなかった（方法を知らなかった）こともあり、まだまだ改良の余地があると感じた。主催者側もこれを機に、「安全について考えるきっかけになった、今後も定期的に訓練を実施していきたい。」と意気込んでいたため、以前作成した水辺での安全対策資料などを提供し、さらなる協力関係を深め水災害「0（ゼロ）」を目指していきたい。

### 3. 水難事故予防の広報活動について

本市における水難事故予防活動は、今年で12年目になる。今まで地道に活動してきたこともあり、それが評価され、2023年度の地元前橋市の広報誌「広報まえばし6月号」の特集ページをいただく事ができた。レジャーシーズンが近いこともあり、ライフジャケットの有効性、背浮きのやり方、溺れている人を発見した際の対処法などを主眼に置き掲載した。また、7月には地元のラジオ局に出演させていただく事が決まっており、更なる普及が望める。さらには、現在、背浮きの方法やライフジャケットの正しい着用方法をまとめたYouTube動画を作成中である。様々なメディアで取り上げてもらうことで、多くの市民に水難事故予防について知ってもらう機会が増えると共に、正しい知識を身に付けておくことで防ぎえる事故はたくさんあると考えられる。今後も「ういてまて教室」を継続しながら、広報活動にも力を入れ水難事故予防のさらなる普及啓発に繋げていきたい。

### 4. 「危険予知シート」の活用について

私たち指導員は「ういてまて教室」にて、水辺での安全行動や背浮きのポイントなどを指導するだけでなく、受講者の安全管理も同時に行わなくてはならない。様々な安全教育を受けてきた我々消防職員でも、ヒヤリハットする場面や予想外の事故を起こす可能性がある。そんな予想外を無くすために、今回新たに作成した危険予知シートを活用し、あらかじめ考えられる危険を洗い出し、先生を含めた指導員同士で対策を検討する場を今年度の教室から導入する予定である。本シートを活用することで、危険を可視化し具体的な対策案を検討し共有することができるため、今まで以上に安全な教室が提供できると確信している。

指導員は、会社員、自営業や主婦など様々な職種の方がおられる。これから「ういてまて教室」のシーズンに入り、たくさんの受講者の命を預かって指導していくと思う。「危険予知シート」を参考にしながら、「安全」について、もう一度考えるきっかけになると幸いである。

### 5. 今後の展望

前橋市では、学校教育現場等での「ういてまて教室」を継続しながら、水難事故予防について広く知ってもらうための広報活動にも力を入れていきたい。今後さらに発展していくであろうプロジェクトであるが、現在懸念されるのは指導員不足についてである。依頼者側のニーズに応えるためにも、指導員の普及や協力者をどのようにして増やしていくかが今後の課題となるであろう。並行してライフジャケットの更なる普及についても今後研究していきたい。